

町長だより

7月に入り、今年もまた“猛暑の季節”となりそうですが皆様お元気にお過ごしでしょうか。

さて、町内では、小麦の刈り取りが終わり、稲の成長とともに町の風物詩の一つとなっている“緑の田園風景”が目を楽しませてくれています。

当町では、農業振興を食料自給率向上、地産地消推進という観点から、重要な行政テーマとして位置付けて農業従事者と連携した取り組みを行っております。

また、平成30年度から取り組み、5年目を迎えている「東海道まちなみ整備事業」につきましても、本誌14ページで紹介している動画から詳細をご覧ください。



ただけですが、歩道部分のカラー舗装化、JR駅前及び近鉄駅周辺のポケットパーク整備、来訪者向けの町内案内板設置等の計画が予定通り順調に進んでおります。

次に、3年目に入っております「新型コロナウイルス感染症対策」については、4回目の「ワクチン接種」を国の方針に従って今月から実施させていただきます。「マスク着用」については熱中症対策も考慮した上での確かな対応をしていただきますようお願い申し上げます。

尚、「熱中症対策」ということで、「小さなお子様」のマスク着用については十分に注意していただきたいということ、また、「ご高齢者の方」には、「1日あたり1.2リットル（コップ約6杯）程度の水分を摂取すること」「エアコン・扇風機等の冷房機器を早めに利用すること」を心がけていただきますようお願い致します。

冒頭でも申し上げましたが、これから3ヶ月程度は「猛烈な暑さ」が続くことが予想されますので、くれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。今月のご挨拶とさせていただきます。

令和4年7月

町長 矢野純男

今月の表紙

多世代交流（あさひ園）

6月10日（金）、あさひ園の5歳児と、老人クラブの皆さんで交流会を開催しました。園児たちは、折り紙やお手玉などの遊び方を老人クラブの皆さんに優しく教えていただきました。園児は「あやとり教えて」や「どうすれば紙飛行機もっと飛ぶかな」など、目を輝かせて老人クラブの皆さんと一緒に遊びました。

